

計画があれば、夢が実現する

船引小学校長 安生昌弘

今日は令和5年、最初の学校の日です。みんなは学年が1つ上に上がる年のスタートの日です。特に 6 年生は卒業をして中学校へと進学する年になりました。いよいよという感じですね。今日は 1 月 10 日ですが、昨日までに家族から「あなたの今年の計画や目標は何かな。」と訊ねられた人はいますか。実は日本には古くから『一年の計は元旦にあり』といって「その年1年間の計画は元旦の朝に決めると良い」ということわざがあります。これは本当は「計画は早いうちに立てて、すぐ取り組むことが大切なんだよ」という私たちの生き方へのアドバイスなのです。

アメリカのメジャーリーグで 2 年連続、大活躍した野球選手の大谷翔平選手は、自分の大きな目標を達成するために早くから多くの計画を立てて実際に行動しているそうです。高校 1 年生の時、「立派なプロ野球のピッチャーになる」という大きな目標を立て、そのために必要な小さな目標を 8 つ立てました。その 8 目標毎に 8 つの計画を立てました。そして、合計 64 個の計画を考えて 3 年間取り組みました。もちろん、ピッチャーとしての実力を付けるための計画がほとんどですが、中には「それってプロ野球選手になることに関係あるの?」という計画があります。例えば、「あいさつをする」



「本を読む」、そして「ゴミ拾いをする」なんていう計画もあります。「ゴミ拾いをする」であることに気が付きました。大谷翔平選手が、メジャーリーグの試合中にグラウンドのゴミを拾ってユニフォームのポケットに入れているところをテレビで見ました。つまり、10 年以上ゴミ拾いを続けているのかも知れません。

「何かをやってみよう」とか「何かを続けてみよう」と計画を立てなければ、人は何もしないままに、ボーっとして過ごしてしまうのです。そうなってしまわないように、日本人は『一年の計は元旦にあり』ということわざで注意をするように言い伝えてきました。同じく有名なイチロー選手も『小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています』と言っています。小さな計画をたくさんやり遂げると大きな夢をかなえることになります。学校での後期のめあてとは別に「これからやってみよう」とか「続けてみよう」ということを決めて家族に話しましょう。土曜日や日曜日に家で掃除機をかけようでも良いし、1 日 10 分間、本を読むでも良いです。そうすれば、きっと家族はみんなを応援してくれるし、何よりも怠けそうになる自分を自分の心が励ましてくれるようになります。まだ 1 月ですから間に合います。どんな小さなことでも良いですから、一人一人に合った、一人一人違った計画を立てることを期待しています。

